

2025 年 7 月 3 日

JR西日本不動産開発株式会社
MOTOKOLOGY実行委員会

モトコー1・2街区でのアートプロジェクト 「MOTOKOLOGY」の開催について

元町高架通商店街（以下「モトコー」）においては、元町高架通商店街振興組合をはじめご契約者様へ高架下返還のご相談をさせていただき、多くのご契約者様及び商店街の皆様にご理解を賜わると共に、耐震補強工事等、鉄道の更なる安全性向上に必要な工事を進めてまいりました。

この度、これまで多種多様な価値を生み出してきたモトコーへの想いを込め、返還いただいた高架下にある物などのアート化や、対話の場を開催する取り組み「MOTOKOLOGY」を暫定的に開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

■実施概要

実施区画	元町～神戸駅間高架下（モトコー）1街区及び2街区
所在地	神戸市中央区元町高架通2番地及び3番地（高架番号 138～183 号）
開業予定期間	2025年7月～2026年3月末（予定）
主催	MOTOKOLOGY実行委員会
共催	JR西日本不動産開発株式会社
後援	神戸市、神戸市教育委員会
協力	株式会社JR西日本コミュニケーションズ
Web サイト	https://motokology.com

より詳細な実施概要につきましては、以下をご覧ください。

<https://drive.google.com/file/d/1g-ztDrsKeVnB3cJW4guo8I1TgCDTnn-k/view?usp=sharing>

■MOTOKOLOGY全体概要

JR 元町駅高架下、元町高架通商店街。通称「モトコー」。解体と再整備を目前に控えたこの場所を舞台に、アートプロジェクト『MOTOKOLOGY(以下:モトコロジ)』が始動します。

「モトコー」は、戦後の闇市を起点に、ファッションや中古レコード、古書、町中華、酒場、日々の情報交換が行き交う井戸端会議の場、あるいはナイトカルチャーの発信地など、多様な文化や店が重なり合ってきた場所です。個々の店舗や活動が独自の個性を放ちながらも、どこかで「モトコーらしさ」と呼ばれる独特の空気を育んできました。それは、目には見えない「モトコー」という理念や本質的な姿を、それぞれが部分的に担い、分かち合いながら積み重ねてきたことで、この場所ならではの大きなイメージと絶妙なバランスの共存関係が形づくられてきたと言えるでしょう。こうした「モトコーらしさ」に学びながら、『モトコロジ』もまた、多様な関わりが自然に交わる場を育んでいきます。

「モトコー」と学問を意味する接尾辞「-logy」を組み合わせた造語である『モトコロジ』は、展覧会でも芸術祭でもありません。むしろ街づくりにも通じる曖昧さを含んだアートプロジェクトです。この場に関わる人々が何を発見し、何を残すのかを主観的に選択し、共有していくことを大きなテーマにしています。さまざまな要素が交わり、人や場所が変化し続ける中で、見いだしたものをすくい上げ、次代へ受け渡していくプロジェクトです。

本プロジェクトは、神戸市内の産官学民による参画をはじめ、外部から訪れるアーティスト、『モトコロジ』が主催するイベントの参加者、そして日常的にモトコーを通り過ぎる人々、それぞれが主人公です。アーティストの多角的な視点も交えながら、場に蓄積された記憶や価値を掘り起こし、対話と試行を重ねていくことで、次世代に向けた新たな未来像を描き出していきます。

これまでの「モトコー」から何を学び、これからのモトコー、そして私たちの生活にどう生かしていくのか。解体直前の終わらない前夜祭。『モトコロジ』は胎動を始めます。

■プロジェクトメンバー

プロデューサー	田村圭介（株式会社ヴィレッジズ）
	1976 年、徳島県生まれ、神戸在住。1999 年～2010 年株式会社ビームス、2011 年～2015 年農業生産法人 経営を経て、2013 年株式会社ヴィレッジズを設立。空き家を宿泊・飲食・イベントスペースなどへ転用するコンサルタント、ナイトカルチャーの市民団体の設立・運営、遊休地でのアートプロジェクトの企画など、遊休資産の利活用を行う。2024 年には、AiRK 主催のアートプロジェクト ARP のコーディネーターを担当。
ディレクター	森山未来（Artist in Residence KOBE）
	1984 年、兵庫県生まれ。5 歳から様々なジャンルのダンスを学び、15 歳で本格的に舞台デビュー。2013 年に文化庁文化交流使としてイスラエルに派遣。 「関係値から立ち上がる身体的表現」を求めて、領域横断的に国内外で活動を展開している。俳優として、これまでに映画賞を多数受賞。東京 2020 オリンピック開会式にてオープニングソロパフォーマンスを担当。2022 年より神戸市にて Artist in Residence KOBE (AiRK) を設立し、運営に携わる。令和 5 年度兵庫県芸術奨励賞受賞。24 年度神戸市文化賞受賞。ポスト舞踏派。
キュレーター	吉田山（アートアンプリファイア/ FLOATING ALPS 合同会社）

	土地、歴史、社会インフラ、場所、テクノロジーの再利用について考察し、展覧会やアートプロジェクト、出版、経営などの実践を通じて、社会とのオルタナティブな関係性を構想する。主なアートプロジェクトに「都市 GENE の抽出・反転・流通」(2024、BankART Station、横浜)、主なキュレーションに「SSS: Super Spectrum Specification」(2024、寺田倉庫 G1-5、東京)。「ART SITE 神津島 2024」 共同ディレクター。「ATAMI ART RESIDENCE」 2023～24 年度 プログラムディレクター。
コーディネーター	松田雅代 (アートマネージャー)
	1984 年兵庫県生まれ、神戸在住。ディスプレイ会社の営業職を経て、現代アートプロジェクトを手がける NPO に 10 年間勤務。地域を舞台にした展覧会の企画制作・運営や、恒久設置作品の制作コーディネーションなど、表現ジャンルや現場の状況、立場を問わず幅広く携わる。2022 年に独立。松田観光主宰。アート作品と出会うことも、知らない場所や人に出会うことも、新しい光を観る「観光」だと捉えて活動。アートプロジェクトや作品の実現に向けたコーディネーションや、アートや文化を活かしたツアーの企画造成を得意とする。国内旅程管理主任者資格所持。
ストラクチャー マネージャー	片田友樹 (建築家/ 株式会社 micelle)
	1984 年岐阜県生まれ、和歌山県育ち、神戸在住。2009 年東京大学大学院修了。2009 年スキーマ計画、2013 年ケース・リアル、2017 年株式会社 micelle を設立。建築家としてだけでなく、展示の設営やアートプロジェクトへの参画など、活動は多岐に渡る。2024-2025 年には〈災間スタディーズ：震災 30 年目の“分有”をさぐる〉「分有資料室」@KIITO に参画。

■位置図



JR 西日本不動産開発 高架下事業の取り組みについて

<https://www.jrwd.co.jp/business/underpass.html>

JR 西日本不動産開発 つながりの場づくり「Make PLACE」

https://www.jrwd.co.jp/about/vision.html#TO2_2

JR 西日本不動産開発 サステナビリティへの取り組み

<https://www.jrwd.co.jp/sustainability/>



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



以上